

# “久米島町人口ビジョン”

## Q & A

久米島町の将来を  
みんなで考えよう!



### 久米島町人口ビジョンについて

人口ビジョンとは、「人口について将来どうなっていたいか」を示すものです。

今、日本では生まれる子どもの数が少なく、人口がどんどん減っています。人口が少なくなると物を作ったり売ったり、買ったりする人も少なくなり、社会の経済に非常に大きな影響を与えます。そこで政府としては、人口の減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保することを目標にしています。「久米島町人口ビジョン」は、こうした政府の動きを踏まえ、久米島町ではどんな人口ビジョンを持つといいのかを、みんなで共有するものです。そのためにまず課題や見通しをはっきりとさせ、町の方針につなげていきます。調査については『ひと・まち・しごと創生本部』のシステムやデータを活用しました。久米島町の現状をみんなで認識し、今後どうなるのか、どうしたら良いのかを導きだしていきます。



## Q. 久米島町の人口はどうなっているの？

**A.** まず、総人口については年間100名ずつ減っていくことが予測されています。そこで注目されるのが、0～14歳の「年少人口」と15～65歳の「労働力人口」が減り始め、高齢者人口が増えていることです。年齢別では、15～19歳の減少が目立ちます。

また、出生数が死亡数を下回る「自然減」が起こっており、転出による「社会減」や、若い女性の島離れも多く見られます。

その一方で「合計特殊出生率」が伸びています。これは一人の女性が一生に生む子どもの平均数を示すもので、全国平均が1.42に対し、久米島町では2.31になっています。

なぜそうなっているかを調査することが、今後の町の人口ビジョンを考えるのに役立ちます。

- 2015年は1990年のピーク時より2,269人減少。
- 2040年の総人口は5,832人に減少すると予測されます。



- 年少人口(0～14歳)・労働人口(15～65歳)が減り、高齢者が増えています。



- 合計特殊出生率は伸びています。

一人の女性が一生に産む子どもの平均数  
全国平均 1.42人 久米島町 2.31人

## Q. 久米島町で働く人の数は？ また、どんな仕事をしているの？

**A.** 仕事に就いている人(就業者)の数は、1975年の3,647人から1990年の4,435人をピークにして、2010年には4,025人になり、減少の傾向にあります。全体的には第1次産業が減っていますが、2015年には農林水産物の輸出が過去最高を記録しています(前年に比べ22.6%増加)。国は2020年までに輸出額を※1兆円に伸ばすと発表しているので、第1次産業を拡大すると全体の就業数が増え、経済効果と人口増に期待が持てます。

※2015年は6,690億円

▲第1次産業は1980年から減る傾向にあります。

▲第3次産業の就業者数は順調に伸びており、1975年から2010年にかけて約1.6倍に成長。特にサービス業が伸びています。

| 1975年 |          | 1990年 |          | 2010年 |          |
|-------|----------|-------|----------|-------|----------|
| 第1次産業 |          | 第1次産業 |          | 第1次産業 |          |
| 農 業   | 1,407人 ↓ | 農 業   | 1,368人 ↓ | 農 業   | 935人 ↓   |
| 漁 業   | 91人 ↑    | 漁 業   | 133人 ↑   | 漁 業   | 179人 ↓   |
| 合 計   | 1,498人 ↑ | 合 計   | 1,501人 ↓ | 合 計   | 1,114人 ↓ |
| 第2次産業 |          | 第2次産業 |          | 第2次産業 |          |
| 鉱 業   | 8人 ↑     | 鉱 業   | 13人 ↓    | 鉱 業   | 1人 ↓     |
| 建 設 業 | 395人 ↑   | 建 設 業 | 506人 ↓   | 建 設 業 | 320人 ↓   |
| 製 造 業 | 391人 ↓   | 製 造 業 | 304人 ↓   | 製 造 業 | 302人 ↓   |
| 合 計   | 794人 ↑   | 合 計   | 823人 ↓   | 合 計   | 623人 ↓   |
| 第3次産業 |          | 第3次産業 |          | 第3次産業 |          |
| 卸・小売業 | 0人 ↑     | 卸・小売業 | 642人 ↓   | 卸・小売業 | 396人 ↓   |
| サービス業 | 416人 ↑   | サービス業 | 850人 ↑   | サービス業 | 1,275人 ↑ |
| 公 務   | 340人 ↑   | 公 務   | 378人 ↓   | 公 務   | 339人 ↓   |
| そ の 他 | 599人 ↓   | そ の 他 | 241人 ↑   | そ の 他 | 278人 ↓   |
| 合 計   | 1,355人 ↑ | 合 計   | 2,111人 ↑ | 合 計   | 2,288人 ↓ |
| 従業者総数 | 3,647人 ↑ | 従業者総数 | 4,435人 ↓ | 従業者総数 | 4,025人 ↓ |

## Q. 久米島町の各地域の人口はどうなっているの？

A. このデータは2010年と2015年における、各地域の全人口に対する高齢者および55歳以上の割合を示したものです。人口の半分以上が高齢者になり、経済的にも社会的にも共同生活を送ることが困難になる集落を「限界集落」といい、久米島町の多くの地域が限界集落になる手前の「準限界集落」になっています。また、この5年間で増えていることが分かりました。

2015年の限界集落の数

- 準限界集落……………14集落
- 超準限界集落……………1集落
- 消滅集落……………1集落

【限界集落の定義】

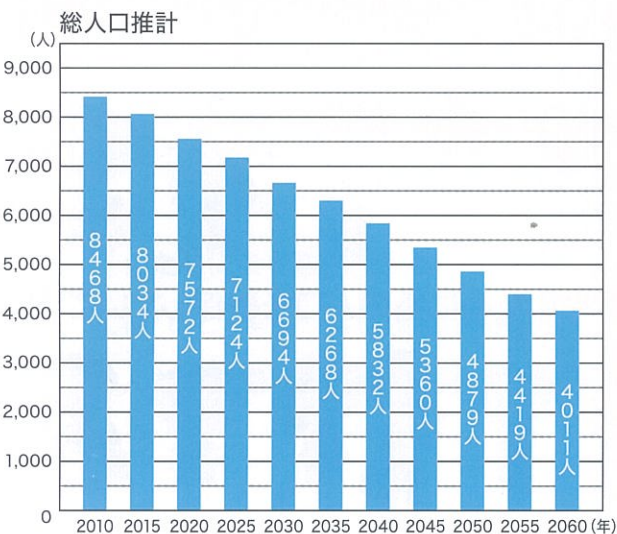
準限界集落／55歳以上の占める割合が50%以上  
 限界集落／65歳以上の占める割合が50%以上(高齢化率と同じ)  
 超準限界集落／世帯5件以下  
 消滅集落／人口0

| 行政区        | 2010年 |         | 集落定義  | 2015年 |         | 集落定義   |
|------------|-------|---------|-------|-------|---------|--------|
|            | 高齢化率  | 55歳以上割合 |       | 高齢化率  | 55歳以上割合 |        |
| 1. 仲村渠     | 31%   | 48%     |       | 37%   | 54%     | 準限界集落  |
| 2. 具志川     | 34%   | 55%     | 準限界集落 | 42%   | 63%     | 準限界集落  |
| 3. 仲地      | 26%   | 46%     |       | 31%   | 49%     |        |
| 4. 山里      | 21%   | 40%     |       | 22%   | 46%     |        |
| 5. 上江洲     | 31%   | 42%     |       | 32%   | 44%     |        |
| 6. 西銘      | 24%   | 39%     |       | 24%   | 43%     |        |
| 7. 久間地     | 24%   | 38%     |       | 24%   | 38%     |        |
| 8. 北原      | 26%   | 43%     |       | 29%   | 51%     | 準限界集落  |
| 9. 大原      | 27%   | 41%     |       | 27%   | 48%     |        |
| 10. 鳥島     | 24%   | 39%     |       | 22%   | 38%     |        |
| 11. 仲泊     | 12%   | 24%     |       | 15%   | 26%     |        |
| 12. 大田     | 18%   | 34%     |       | 19%   | 35%     |        |
| 13. 兼城     | 32%   | 45%     |       | 36%   | 53%     | 準限界集落  |
| 14. 嘉手苧    | 33%   | 47%     |       | 39%   | 57%     | 準限界集落  |
| 15. 宇江城    | 31%   | 42%     |       | 29%   | 48%     |        |
| 16. 比屋定    | 31%   | 47%     |       | 35%   | 61%     | 準限界集落  |
| 17. 上阿嘉    | 16%   | 44%     |       | 28%   | 59%     | 準限界集落  |
| 18. 下阿嘉    | 22%   | 47%     |       | 25%   | 49%     |        |
| 19. 真謝     | 35%   | 50%     | 準限界集落 | 32%   | 54%     | 準限界集落  |
| 20. 宇根     | 30%   | 43%     |       | 31%   | 50%     | 準限界集落  |
| 21. 真泊     | 25%   | 38%     |       | 29%   | 42%     |        |
| 22. 泊      | 39%   | 52%     | 準限界集落 | 33%   | 52%     | 準限界集落  |
| 23. 西奥武    | 29%   | 32%     |       | 35%   | 60%     | 超準限界集落 |
| 24. 東奥武    | 83%   | 100%    | 準限界集落 |       |         | 消滅集落   |
| 25. 謝名堂    | 33%   | 50%     | 準限界集落 | 31%   | 50%     | 準限界集落  |
| 26. 比嘉     | 18%   | 31%     |       | 18%   | 29%     |        |
| 27. 真我里    | 22%   | 36%     |       | 25%   | 41%     |        |
| 28. 銭田     | 34%   | 43%     |       | 37%   | 50%     | 準限界集落  |
| 29. 島尻     | 33%   | 51%     | 準限界集落 | 42%   | 67%     | 準限界集落  |
| 30. 山城     | 27%   | 42%     |       | 36%   | 50%     | 準限界集落  |
| 31. 儀間     | 30%   | 43%     |       | 31%   | 48%     |        |
| 32. 宇江城山田原 | 0%    | 0%      |       | 0%    | 0%      |        |
| 33. イーフ    | 7%    | 20%     |       | 11%   | 26%     |        |
| 全体         | 25%   | 39%     |       | 26%   | 43%     |        |

## Q. 将来、島の人口はどうなるの？

A. 「社人研推計」<sup>※</sup>によると2060年には4,010人まで減ってしまうことになります。

また、これまでの調査から、自然減よりも社会減による影響が大きくなると推測されます。



※国立社会保障・人口問題研究所

自然増減と社会増減の影響度(将来)

|                 |   | 自然増減の影響度(2040年)     |   |                               |   |   | 総計         |
|-----------------|---|---------------------|---|-------------------------------|---|---|------------|
|                 |   | 1                   | 2                                       | 3                             | 4 | 5 |            |
| 社会増減の影響度(2040年) | 1 | 宜野座村                | 南風原町、渡名喜村、うるま市、豊見城市、八重瀬町、中城村、金武町        | 恩納村                           |   |   | 9 (22%)    |
|                 | 2 | 粟国村、座間味村            | 今帰仁村、与那原町、南城市、糸満市、名護市、浦添市、石垣市、宜野湾市、嘉手納町 | 北中城村、北谷町、読谷村、沖縄市、西原町、大宜味村、那覇市 |   |   | 18 (43.9%) |
|                 | 3 | 伊是名村、北大東村、渡嘉敷村、南大東村 | 宮古島市、国頭村、東村、本部町                         |                               |   |   | 8 (19.5%)  |
|                 | 4 | 伊平屋村、多良間村、与那国町      | 伊江村                                     |                               |   |   | 4 (9.8%)   |
|                 | 5 | 竹富町                 | 久米島町                                    |                               |   |   | 2 (4.9%)   |
| 総計              |   | 11 (26.8%)          | 22 (53.7%)                              | 8 (19.5%)                     |   |   | 41 (100%)  |

自然増減の影響度：シミュレーション1の総人口/パターン1の総人口の数値に応じて、以下の5段階に整理。

「1」=100%未満、「2」=100~105%、「3」=105~110%、「4」=110~115%、「5」=115%以上

社会増減の影響度：シミュレーション2の総人口/シミュレーション1の総人口の数値に応じて、以下の5段階に整理。

「1」=100%未満、「2」=100~110%、「3」=110~120%、「4」=120~130%、「5」=130%以上

## Q. 今回の分析をまとめると?

A. まず、このまま人口が減り続けると、地域における消費活動が低下し、さまざまな産業が衰退したり、サービスのレベルが低くなる可能性があります。また、集落に人が少なくなると、自治会などの活動が弱まり、社会づくりに必要な人と人のつながりも維持できなくなります。そうなると、島から出て行く人がさらに増え、消滅する集落も出てくると予測されています。廃墟や空き家の問題も出てくることでしょう。それを防ぐために、早急に検証しなければならないことが4つあります。

1

高校生の流出について

2

平均的な婚姻年齢の  
女性数が少ない問題

3

島の都市機能が  
低下していく問題

4

島のコミュニティ  
機能が低下する問題

## Q. こうした問題を解決するためには?

A. 将来のことまで考えて、次のような対策があげられます。



1

子どもたちが島で  
教育を受け続けら  
れる体制づくり



2

出産年齢女性が  
生活しやすい環境  
づくり



3

島の魅力づくり  
(高齢者の活躍の  
場づくり)



4

島外からの転入を  
増やすこと

## Q. 将来のために、目標とする人口は?

A. まず、2025年に8,500人程度の人口を確保し、2060年に6,500人程度の人口を確保することです。町民の皆さんには島の人口状況をしっかりと認識し、対策についての理解を深めていただきたいと思います。

2025年  
8,500人 確保



2060年  
6,500人 確保

